

「学生クリーン・ビーチいしかわ」への参画

団体名●池田ゼミナール、野外スポーツ部／代表者名●池田幸應(人間科学部スポーツ学科・教授)

はじめに

石川県は583kmの海岸線を有し、県民と海とは親密な関係であり、石川県の海岸線をきれいにする海岸愛護運動「クリーン・ビーチいしかわ」が1995年からスタートし全県の県民運動として県民のみならず全国へ発信されている。2001年秋、「学生クリーン・ビーチいしかわ大作戦 ～学生もやるときゃやるぞ!～」がスタートし、本学野外スポーツ部およびスポーツ学科池田ゼミナールも参画し活動継続されている。本年度は、全国的に新型コロナウイルス感染の蔓延終焉の兆しが見えず、地域での様々な行事や活動が規制または中止となり、大学においても授業が対面から遠隔を中心とした形態となり、課外活動等も制限されている状況の中、何とか学生たちの継続実施の思いにより、11月23日、金沢港クルーズターミナルにおいて“学生之力・海岸清掃ボランティアの未来”をテーマとして、活動資料展示、演劇、そしてミーティングによる「学生クリーン・ビーチいしかわ大作戦 2021」を開催した。

活動内容

具体的活動内容として、これまでのクリーン・ビーチいしかわの活動写真パネル、トランクミュージアム、貝殻・石の標本、テント図、クリーン・ビーチいしかわカルタなど、継続的な活動紹介や漂着ごみの海岸の様子についても情報展示し、演劇では、クリーン・ビーチいしかわ昔話「おとぎ村のおはなし」を学生たちが演じながら、クイズも交え、来場の子どもたちへ海の環境保全の重要性についてアピールした。ミーティングにおいては、「アフターコロナ ～未来に向けての提言～」として、これまでの学生クリーン・ビーチいしかわの活動について、この活動のスターティングメンバーであった学生OBを招き、当時の活動開始の状況やその様子について振り返り、また、現在、参画している「海岸の漂着物調査(石川県)」について、プラスチックが目立つ海洋ごみの実態報告がなされました。その後の3つのグループ毎のディスカッションでは、学生クリーン・

ビーチいしかわの更なる活動についての意見が出されました。

成果、結果の考察

この活動は、単なる海岸清掃活動に留まらず、クリーン・ビーチいしかわ実行委員会、石川県環境部等との連携協働による次世代人材育成としての側面に加え、活動の多くに子どもたちを対象とする活動も多く含まれているので、子どもたちへの環境教育推進にも大きく役立っている。

昨年度同様、本年度においても新型コロナウイルス感染による社会状況および大学対応指針により、地域での活動実施が制限される中で、学生たちの「海」への思いとエネルギーな活動姿勢は継続されている。



写真 学生の「海岸の漂着物調査」結果報告の様子

今後の課題、展望

全県の組織である「クリーン・ビーチいしかわ」の活動の中でも、本活動は学生主体の活動であり、より多くの他大学や専門学校、そして高校生の協働参画が期待される。